

眺洋山

2022
3月

学校だより ちょうようざん

学校だより以外の子ども様子も盛りだくさん!
ホームページはこちらから→



学校教育目標
自立・共生・自己実現



鬼は外 福は内!

INFORMATION

3月より健康観察アプリを試験導入します

コロナの感染が広がり始めてから、3度目の3月を迎えようとしています。未だ、終息の見えないコロナ禍において、朝の検温、健康状態の把握は今後も継続していかなくてはなりません。また、来年度からは、児童数も増え、朝の欠席連絡等も多くなると予想しています。保護者の方の手間軽減と学校の業務改善を目的に、3月から健康観察アプリ「LEBER(リーバー)for school」を試験導入します。このアプリは来年開校する想青学園でも導入する予定となっています。試験導入を経て、来年度の常石ともに学園の開校時には、正式導入したいと考えています。

なお、学校として月額3,278円となりますが、PTA企画部役員と協議させていただき、PTA会費の方から支出させていただくこととしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



学校図書館リニューアルスタートを行います

開校に合わせて、学校図書館のリニューアルも行うことになりました。このリニューアルは、著名な児童文学評論家である赤木かん子さんプロデュースで行われます。4階パソコン室を学校図書館として改装し、新たな本を多数入れていきます。きっと子ども達がより一層本に親しむことのできる空間になることでしょう。完成した際には、また紹介しますので、ぜひ楽しみにしてください。



閉校式等について



先月号でお伝えした3月5日(土)の閉校式等が、名称等も含め、一部変更になりました。コロナ禍であることから**保護者の方が出席できるのは、午後からの閉校の催しだけ**となります。入場は13時からとなります。ただし、3月もまん延防止等の継続がある場合は、再度変更があるかもしれません。あらかじめご了承ください。

※当日、子ども達は弁当が必要になります。3月7日(月)は代休となります。

閉校式 (主催:福山市教育委員会)	閉校記念式典 (主催:閉校記念事業運営委員会)	閉校の催し (主催:常石小学校)
10:00~10:30	11:00~12:30	13:30~15:00
【内容】 ・開式の辞 ・市長式辞 ・教育長あいさつ ・来賓代表あいさつ ・来賓紹介及び電報紹介 ・児童代表の言葉 ・校歌斉唱 ・校旗返納 ・校長あいさつ ・閉式の辞	【内容】 ・開会の言葉 ・運営委員会委員長あいさつ ・児童制作DVD上映(ダイジェスト版) ・閉校記念DVD上映 ・校舎見学 ・記念碑除幕式 ・風船飛ばし ・閉会	【内容】 ・児童開会の言葉 ・児童発表(低学年) ・児童発表(高学年) ・児童閉会の言葉
【出席者】 ・市来賓・児童	【出席者】 ・地域来賓・児童	【出席者】 ・保護者・児童

自立した学び手となるために ～常石小学校のめざす学びの姿～

本校の学校目標の一つは「自立」です。この「自立」という言葉、学校要覧では、この「自立」に「自ら考え学ぶ子 学びに責任を持つ子」と書き添えています。今回は、この「自ら考え学ぶ子」について少し話させていただきます。

学びを山登りに例えると

学びの過程は山登りのようなものです。頂上にあるのが学習目標。子ども達はふもとからその頂を目指して登っていくことになります。

これまでの学びの過程は、「親切丁寧なガイド付き山登りツアー」のような面がありました。先生が用意したプリントに取り組んだり、先生の質問に答えたりしているうちに学習が進み、学習目標に到達していくといった具合です。登山道を事前に先生が整備し、「さあ、ここから登るよ」と声をかけ、引率しながら登っていくのですから、道には迷いません。安全に最短ルートで頂までたどり着くことができます。ある意味効率的ではあります。

ただ、この山登り、自力で山に登るようになるかは疑問です。いつか自分一人で山に挑めるようになるのでしょうか。私たちはそうではないと考えています。

自力で登るために必要な事

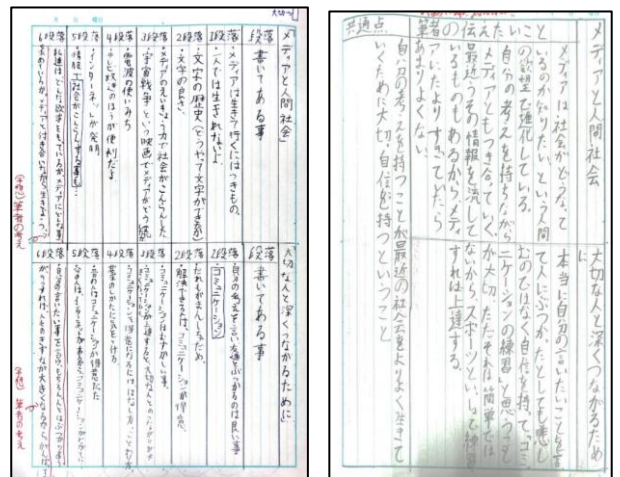
自分一人で山に挑めるようになるためには、自力で山頂までのルートを切り開き、登っていくことを繰り返すことが必要です。もちろん、始めのうちは山登りツアーを体験してもいい。先人が整備した道をたどることもよいでしょう。でもいつかはそこから抜け出し、自分なりのルートを切り開いていくことに挑戦しなくてはなりません。当然うまくいかないことも多いはず。時には道に迷うこともあります。でもそうやって何度も何度も挑んでいくことで、自分の登山スタイルが確立し、いつか自分一人で山に挑めるようになっていきます。

自ら考えて学ぶ子常石小学校の子ども達

学びも同じです。学習目標をとらえ、どういうプロセス、やり方で学んでいこうかと自分なりに考え、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいく。それこそが自ら考えて学ぶ子の姿であり、常石小学校で目指すところです。その実現にむけ、教師は個々の学びを促すとともにしっかりと見守り、必要があれば方法例を示したり、寄り添いながらアドバイスしたりしています。

最近では、特に高学年で自分なりの学びの姿が見られるようになりました。国語科では、筆者の主張をとらえる際に、ノートに段落ごとの要旨を整理していく子、教科書を何度も読み返して大切なところに線を引いてまとめていく子など様々な姿が見られます。社会科で調べる場合も、映像資料を活用してまとめる子もいれば、本や資料集を活用してまとめる子もいます。みんな違ってみんないい。ノートなどの記述からも、一人ひとりの学び方がちがうことを見取ることができます。

子ども達が生きていく世界は、これまで以上に予測不可能で変化の激しいものと言われています。そんな中でも自分で道を切り開いていける人になってほしい。そのために、学校は自立した学び手を育てる場でありたい。それはこれから開校を迎える常石とともに学園でも変わらぬ思いです。



同じ目標にもかかわらず、やり方の異なる2人のノート

常石小学校写真館 1月 2月の子ども達



山登り大会に向けてのトレーニングもいよいよ大詰め！



小鬼じゃ。小鬼がおる。



作った鬼とハイチーズ



アジの開きを作りました



ネットをつないで五校で交流中



閉校の催しに向けて劇の練習中

よい歯の学校表彰 優良賞 受賞！

2021年度の学校歯科保健調査の結果により、本校がよい歯の優良賞として表彰されました。これは、永久歯の処置率が高い学校に送られるものです。

これからも食生活に気をつけ、歯みがきを続けて、よい歯を守り続けていきましょう

